事務事業調書(通	常評価	i事業 事後評	面)							
事務事業名	健康マ	イルカード事業	業 (国保対象)			事業開	始年度	令和 3年度		
担当課	市民生	活部 市民課			担当者	小块	屈 梨絵			
■事業の執行計画	【計画	(Plan)]			·					
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づ	くり				
		本事業								
事業の目的		建康づくりの取組みに対し、インセンティブ(報奨)を提供することにより、健康的な生活習慣を定								
一 事未の日町			命の延伸と医療費品		- , - ,					
事業の概要	対象者の健康づくりの取組みに対しインセンティブを提供することで、行動変容を実現する。									
サネの似女										
■事業実施結果	【実施(Do)								
		年度	2年度			F度		4年度		
事業費の推移	実績/当初予算 実績						当初			
		総事業費	0		7	63		338		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	<u>5年度</u>		
	区分	16	DK 10 10	— IZ	実績		計画	計画		
指標の推移	成果	┃ 健康的な生活習慣	胃を継続している人数	人		52	70	70		
74 174 72 15										
	成果	健康づくり事業に	参加している人数	人		86	100	100		
	=a; /a;			 	1 0 ± ± -	<u> </u>				
\ + + + + = =	評価				った 〇達成で		u++-n	/ 利田本		
達成度の	= 24 00	i	ハて目標値70名に対							
評価と説明	説明 ンディショニングワークブックは、健診結果等でハイリスクの方に実施したが、継続実施を行うこと で体調の改善等がみられていた。									
見直し余地										
		tion)】	- 兄旦しり肥 〇ヵ	下地1よのの人	バま に時间が火	女 しホ地な	L			
事業の方向性	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		+どむし継結 ○□	・完了						
<u>事業の万円性</u> 資源方向性										
具	77.5	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小								

事務事業調書(通	情常評価	事業 事後評価	面)							
事務事業名	糖尿病	重症化予防事業	業			事業開	始年度	令和元年度		
担当課	市民生	活部 市民課			担当者	小块				
■事業の執行計画	【計画									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づ	くり				
	基本事	本事業 01 生活習慣の改善								
事業の目的	医療費	の抑制								
事業の概要	栃木県	糖尿病重症化予	防事業プログラムI	に沿って行う	う事業					
■事業実施結果	実施(Do)]								
		年度	2年度		3年	度		4年度		
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績			当初		
		総事業費	3		1, 0	07		2, 311		
■前年度の事業分										
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	4年度_	5年度		
	区分	18.	ימין בוי או	+12	実績		計画	計画		
指標の推移		保健指導実施者数	ţ	人	1	10	18	18		
	評価	●達成、棚	既ね達成した 〇多	多少は達成し	した 〇達成で	きず	•	•		
達成度の		目標値5人(こ対し10人を達成す	⁻ ることがで	き、対象者の生	活習慣や運動習	習慣に行動変	容があったこと		
評価と説明	説明	説明で、血圧・血糖値等の数値改善を図ることができた。								
見直し余地	判定	2 ●数年内(こ見直し可能 〇名	全地はあるが	がまだ時間が必	要 〇余地な	L			
	z善(Ac									
事業の方向性			犬どおり継続 O.F	廃止・完了						
	予算額 □○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 □○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評	価)							
事務事業名	高齢者	保健介護一体的	的実施事業			事業開	始年度	令和 2年度		
担当課	市民生	活部 市民課			担当者	櫻:	井 敦子			
■事業の執行計画	【計画	(Plan)								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づ	くり				
	基本事	本事業								
事業の目的	地域の健康課題の分析や対象者を把握し、生活習慣病対策など高齢者保健事業と介護予防事業を一体 的に実施									
事業の概要	地域の		や対象者を把握し、	、生活習慣症	対策など高齢	者保健事業と介	護予防事業を	一体		
■事業実施結果【	【実施 (Do)]								
		年度	2年度		34	年度		4年度		
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	2, 114		2,	131	(3, 792		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
	区分	10	1x 14 117	+12	実績		計画	計画		
指標の推移	活動	支援実施割合		%	93. 4	100	95	95		
	評価	」●達成、樹	既ね達成した 〇多	る少は達成 l	た 〇達成で	できず		,		
達成度の			基準に該当した者							
評価と説明	説明	説明 地域の通いの場等を活用した個別的支援については、計画上の参加見込者数以上の参加があった。								
 見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 ●系	戻地はあるが	がまだ時間が必	必要 〇余地な	l			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		し継続 ●現	けどおり継続 O♬	廃止・完了						
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評	西)						
事務事業名	成人各	種健康相談事業	業			事業開	始年度平	" 成26年度	
担当課	健康福	祉部 健康增强	進課		担当者	高	艮幸江		
■事業の執行計画									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障				
総合計画体系	施策	04			充実と健康づ	くり			
	基本事	71	生活習慣の改						
事業の目的		健康に関する個 的とする。	別の相談に応じ必要	要な指導及で	び助言を行い、	家庭における健	康管理に資す	るこ	
事業の概要	健診結:	果相談·栄養相認	炎・健康相談等を実績	施し、保健的	币、管理栄養士	等が指導及び助	言を行う。		
■事業実施結果	実施(Do)]							
		年度	2年度		3全	F度		年度	
事業費の推移	実績/当初予算		実績					当初	
		総事業費	628		9	97	3,	, 566	
■前年度の事業分	の事業分析【評価 (Check) 】								
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
	区分	76	13K 141 117	— 2	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	健康相談を受けた	:人数	人	271	456	600	600	
				%					
	評価	○達成、樹	既ね達成した ●彡	多少は達成!	した 〇達成で	きず			
達成度の 評価と説明	新型コロナウイルス感染症対策のため、健康相談事業内容を縮小。日時完全予約制として実施したた 説明 め、健診結果相談会は対象者を絞り実施した。栄養相談は継続。								
見直し余地	判定	〇数年内	二見直し可能 ● 郐		がまだ時間が必	要 〇余地な	L		
		tion)]							
事業の方向性		し継続の現	犬どおり継続 O.	廃止・完了					
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小								

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	さくら	市食生活改善技	t 進団体連絡協議:	会補助事業		事業開	始年度平	成26年度		
担当課	健康福		進課		担当者	高	表 表			
■事業の執行計画		(Plan)								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策	04	健康・予防・		充実と健康づ	くり				
	基本事	基本事業 01 生活習慣の改善								
事業の目的	食生活	改善推進員協議	会による地区組織	舌動の費用の	ロー部を負担し	、地域の健康づ	くりに寄与す	る。 -		
事業の概要	認定し		と推進を図るため、 て43,000円の補助:			員協議会の事業	を健康増進事	業と		
■事業実施結果【	【実施(Do)]								
		年度	2年度		34	<u> </u>		年度		
事業費の推移	実	績/当初予算				ミ績		当初		
		総事業費	43			0	0			
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
	区分	10.	יניו בו יווי	+12	実績		計画	計画		
指標の推移	活動	会員の年間活動延	E 参加人数	人	19	16	0	0		
	評価	〇達成、棚	既ね達成した 〇多	を少は達成!		きず	•	,		
達成度の			化に伴い年々会員				のため対面で	の事業をするこ		
評価と説明	説明	とができな	かった。							
 見直し余地	判定	○ 数年内/	- 見直し可能 O 名	とまけなる。	がまだ時間が必	必要 ●余地な	ı			
■将来方向性【改		tion)】		1. 251 CV CV CV CV CV) · ひ /こh山川/) · 次	プ女 ▼示地は				
事業の方向性		- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	大どおり継続 O.	・ 完了						
<u>事</u> 来の方向性 資源方向性										
具 你 刀 凹 庄	予算額 ○拡入 ○現入 ●稲小 未務里 ○拡入 ○現入 ●稲小									

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評値	面)							
事務事業名	健康ま	つり開催事業				事業開	始年度 5	₽成26年度		
担当課	健康福	祉部 健康増進	進課		担当者	和鉤	東 貴子			
■事業の執行計画										
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策	04	健康・予防・		充実と健康づく	くり				
	基本事		生活習慣の改							
事業の目的			いきいきと生活で? 対する意識の向上?				様々な取組を	·広く		
事業の概要			参加団体として10. 普及と健康づくりの				動紹介など、	健康		
■事業実施結果	【実施(Do)]								
		年度	2年度		3年			4年度		
事業費の推移	実績	績/当初予算					当初			
		総事業費 324			33	36		当 例		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	<u>4年度</u>	<u>5年度</u>		
	区分			—	実績		計画	計画		
指標の推移	成果	健診、相談、体験 加数	はコーナー等の来場参	人	75	79	120	120		
	評価		既ね達成した ●彡							
達成度の			感染拡大の影響で							
評価と説明	説明		ず、20代のワンコ		≯実施した。新:	型コロナ収束後	は、健康づく	り推進イベント		
	として再開できるよう準備していく。									
見直し余地	判定		<u> 見直し可能 〇名</u>	<u>戻地はあるた</u>	がまだ時間が必	要 ●余地な	L			
■将来方向性【改		tion)]	h 12 1 11 11 11 -							
事業の方向性		- 12-17-	1 - 0 - 1 1 - 100 - 0 10	<u>廃止・完了</u>						
資源方向性	予算	<u> [〇拡大</u>	●現状 ○縮小		業務量	O拡大 ●	<u>現状 〇縮小</u>			

事務事業調書(通	首常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	生活習	慣病予防事業				事業開	始年度	² 成24年度		
担当課	健康福	祉部 健康増進	進課		担当者	高	根幸江			
■事業の執行計画	【計画	(Plan)								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づ	くり				
	基本事	本事業 01 生活習慣の改善								
事業の目的		活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及啓発を図り、自らの健康は自らが守るという認識と								
争未の日的	自覚を	高め、健康の保	持増進を資する。							
		広報等を活用し、生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及啓発およびコロナ禍でも取り組め								
争未の似安	る身体	活動の推進を図	る。							
■事業実施結果【	実施(Do)]								
		年度	2年度		3	年度	4	l年度		
事業費の推移	実	績/当初予算	実績	実約		実績	当初			
		総事業費	135			110		129		
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】										
	指標	+6.		単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
	区分	181	际位例	中位	実績	実績	計画	計画		
 指標の推移	成果	日常生活の中で身	∤体活動を実施してい	%	48.6	51.6	40	40		
日は一日の日本	八木	ない人の割合の洞	沙	70	40. 0	31. 0	40	40		
	成果	運動を実施してい	ない人の割合の減少	%	58. 5	60. 8	55	55		
	八木	理期を美胞して		, •			33	00		
	評価	■ 〇達成、根	₹ね達成した O多	多少は達成し	した ●達成~	できず				
達成度の		新型コロナ	ウイルス感染症対象	策のため、タ	朴出自粛等によ	り運動機会の減	少が考えられ	る。		
評価と説明	说明 ┃ 説明 ┃									
見直し余地	判定	○数年内に	-見直し可能 ●弁	戻地はあるだ	がまだ時間が。	必要 〇余地な	L			
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性										
資源方向性	予算	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小								

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	面)						
事務事業名	健康マ	イルカード事業	業			事業開	始年度 令和	口 3年度	
担当課	健康福	祉部 健康増設	進課		担当者	高村	艮幸江		
■事業の執行計画	【計画								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障				
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づく	くり			
	基本事		生活習慣の改	善					
事業の目的		健康づくりの取組みに対しインセンティブ(報奨)を提供することにより、健康的な生活習慣を定着							
一			の延伸と医療費削減						
事業の概要	対象者	の健康づくりの	取組み対しインセ:	ンティブを扮	是供することで、	行動変容を実	現させる		
	<u> </u>	_							
■事業実施結果【	実施(Do)]						-	
		年度	2年度		3年		4年		
事業費の推移		績/当初予算	実績						
		総事業費	0		1, 5	63	()	
■前年度の事業分									
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	<u>4年度</u>	5年度	
	区分	711	IX II II	7,12	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	■ 健康的な生活習慣	貫を継続している人数	人		1. 905	3, 000	3, 000	
7.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1						,	,		
	成果	健康づくり事業に	こ参加している人数	人(延)		7. 146	9, 000	9, 000	
	-T. /T			7 -1. / 5 -1- 1	1 0 ± ±-	- LS	,	,	
***	評価				た 〇達成で		- / ¬ ¬ u l ^ -	_ \ _" . \ _	
達成度の	=24 00		プリの利用者は前年						
評価と説明	説明 ニングワークブックは、健診結果等でハイリスクの方に実施したが、継続実施を行うことで体調の改善等がみられていた。							こで1本詞の以	
	F 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
見直し余地	判定		- 兄旦し可能 〇分	ト型はめる7	いまに時间か必	要 〇余地な	<u> </u>		
■将来方向性【改		tion)]	上 じ わ 口 砂 生 - 一 へ 「	太正 ウフ					
事業の方向性				<u>廃止・完了</u>	₩ 7/5 目	● #± ○	田本 〇绝上		
資源方向性	予	算額 ●拡大	〇現状 〇縮小		業務量	■ 極大 〇	現状 〇縮小		

事務事業調書(通	A 常評価	事業 事後評	面)						
事務事業名	人間ド	ック補助事業				事業開	始年度	平成26年度	
担当課	市民生	活部 市民課			担当者	小块	屈 梨絵		
■事業の執行計画		(Plan)							
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障				
総合計画体系	施策	04	健康・予防・		, -, , - , -, , ,	くり			
	基本事		病気の早期発		療の推進				
事業の目的	疾病の	早期発見により	医療費抑制を図る。	o					
事業の概要	人間ド	ック・脳ドック	を受診した30歳以.	上の被保険す	≸の受診者に20	,000円の補助を	行う。		
■事業実施結果	【実施(Do)]							
		年度	2年度			丰度		4年度	
事業費の推移	実績/当初予算 実績					『績	当初		
		総事業費	6, 920		7,	420	8	3, 000	
■前年度の事業分		価 (Check) 】		1	1 05-	1 25-4			
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	<u>4年度</u>	<u>5年度</u>	
	<u>区分</u>				実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	人間ドック補助作	+数	件	346	371	400	400	
	評価	〇達成、梅	既ね達成した 〇多	多少は達成し		きず		•	
達成度の		令和3年度(の目標400名に対し	実績371名					
評価と説明	説明								
見直し余地	判定	O数年内I	- 見直し可能 O st	全地はあるが	がまだ時間が必	必要 ●余地な	L		
■将来方向性【改		tion)]							
事業の方向性	〇見直	し継続 ●現	犬どおり継続 O.	廃止・完了					
 資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小								

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	後期高	齢者健診事業費	ŧ			事業開	始年度	平成20年度		
担当課	市民生	活部 市民課			担当者	櫻	井 敦子			
■事業の執行計画										
	政策	02	福祉の充実と							
総合計画体系	施策	04	健康・予防・			くり				
		基本事業 の2 病気の早期発見・早期治療の推進								
事業の目的		慣病の早期発見 活の向上に資す	により、後期高齢す る。	者の健康の倪	保持増進を図り	、生活の質を確	保し、安心で	で安定		
事業の概要	保健セ	ンターでの集団	健診、指定医療機関	関での人間Ⅰ	ドック及び市内	医療機関での個	別健診の実施			
■事業実施結果【	【実施 (Do)]								
		年度	2年度		34	F度		4年度		
事業費の推移	実績/当初予算 実績						当初			
		総事業費	9, 499		10,	079	1	14, 381		
■前年度の事業分	事業分析【評価 (Check) 】									
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	<u>4年度</u> _	<u>5年度</u>		
	区分				実績		計画	計画		
指標の推移	成果	受診率(市町村朝	3告受診率)	%	23. 98	26. 94	30	30		
	評価			多少は達成し	した ●達成で	<u>きず</u>				
達成度の		令和3年度	目標値 30%に対し	26. 94%						
評価と説明	说明									
見直し余地	判定	2 O数年内(見直し可能 ● 斜	余地はあるが	がまだ時間が必	要 〇余地な	L			
■将来方向性【改		tion)]								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●現料	状どおり継続 O♬	廃止・完了				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
資源方向性	予算	算額 ●拡大	〇現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	\		

事務事業調書(通	植常評価	事業 事後評値	西)							
事務事業名	特定健	康診査等事業費	ŧ			事業開	始年度	平成20年度		
担当課	市民生	活部 市民課			担当	小力	屈 梨絵			
■事業の執行計画	【計画									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策 04 健康・予防・医療体制の充実と健康づくり									
	基本事	基本事業 02 病気の早期発見・早期治療の推進								
事業の目的	特定健康	東診査により生	活習慣病(メタボ	リック症候種	詳)の抑制を図]る。				
事業の概要	40歳以_	Lの者に対して	特定健康診査及び特	持定保健指導	尊を実施する。					
■事業実施結果	【実施(I	Oo)]								
		年度	2年度		3	年度		4年度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	13, 348		21	, 058	2	27, 799		
■前年度の事業分	分析【評価 (Check)】									
	指標	坛	標名称	単位	<u>2年度</u>	3年度	4年度	<u>5年度</u>		
	区分	18,	赤口 1小	+ 12	実績		計画	計画		
指標の推移	成果	受診率		%	36. 1	46	60	60		
	評価	〇達成、桐	祝達成した O多	多少は達成	した ●達成	できず	•	·		
達成度の			く、達成するのは							
評価と説明	説明	説明								
見直し余地	判定	〇数年内に	- 見直し可能 ● 斜	余地はあるフ	がまだ時間が	必要 〇余地な	L			
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性	〇見直	し継続 ●現料	犬どおり継続 O.F	廃止・完了						
	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)						
事務事業名	受診行	動適正化指導	事業			事業開	始年度	合和 3年度	
担当課	市民生	活部 市民課			担当者	小力	屈 梨絵		
■事業の執行計画	【計画	(Plan)							
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障				
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づ	くり			
	基本事	業 02	病気の早期発	見・早期治	療の推進				
事業の目的	重複・⅓	頻回受診者、重	複服薬者数の減少						
事業の概要	定し、	トから医療機関 指導する。	への過度な受診が	確認できる対	対象者、または	重複して服薬し	ている対象者	を特	
■事業実施結果	【実施(Do)]							
		年度	2年度			丰度	4	4年度	
事業費の推移	実績/当初予算				実績		当初		
		総事業費	0		4	53		0	
■前年度の事業分									
	指標	指	標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
	区分	10	DK 10 10	— 122	実績		計画	計画	
指標の推移		保健指導実施者数	ţ	人		6	10	10	
	評価	〇達成、棚	既ね達成した 〇多	る少は達成 l	った ●達成で	きず	•		
達成度の		目標値15人	に対し実績は6人だ	ごった。また	、指導完了者(の受診行動適正値	上の割合は509	%を目標にして	
評価と説明	説明	説明 いたが、25%に留まった。							
見直し余地	余地 判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし								
■将来方向性【改	善(Ac	tion)]							
事業の方向性		し継続 ●現料	犬どおり継続 O.	廃止・完了					
資源方向性	予算	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小							

事務事業調書(通	常評価		西)						
事務事業名	各種が	ん検診事業					始年度	₽成26年度	
担当課	健康福	祉部 健康増設	進課		担当者	高	根幸江		
■事業の執行計画	【計画	(Plan)							
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障				
総合計画体系	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり						
	基本事業								
事業の目的	がん検 る。	診を受診するこ	とで、がんの早期	発見・早期活	台療につなげ、	がんによる死亡	者の減少につ	なげ	
事業の概要	厚生労	働省のがん検診	の指針に基づき、彳	各種がん検討	诊を実施する 。				
■事業実施結果	【実施 (Do)]							
		年度	2年度			年度	4年度		
事業費の推移	実	績/当初予算	実績					当初	
		総事業費	50, 678		59,	426	75	5, 431	
■前年度の事業分	<u>析【評</u>	価 (Check) 】							
	指標			単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
	<u>区分</u>	18,	ᆙᅲᇻᆥ	平区	実績		計画	計画	
指標の推移	成果		ん検診精密検査の受診率(胃+肺+ 腸+子宮+乳、前々年度)		81.6	76. 8	100	100	
	評価	〇達成、棚	祝達成した O多	を少は達成し	った ●達成っ	できず	•	•	
達成度の			精検未受診者が多り				要がある。		
評価と説明	説明	1							
見直し余地	判定	2 ●数年内に	・ 見直し可能 〇分	と地はあるか	がまだ時間が』	必要 〇余地な	l.		
■将来方向性【改		tion)]		14-010-07-07	0-7C-111170 X				
事業の方向性			犬どおり継続 Ost	・ 完了					
資源方向性			●現状 〇縮小		業務量	o拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評値	西)						
事務事業名	がん検	診推進事業				事業開	始年度	平成22年度	
担当課	健康福	祉部 健康増進	達課		担当者	高	根幸江		
■事業の執行計画									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障				
総合計画体系	施策	04	#	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり					
	基本事	•	病気の早期発						
事業の目的			宮頸がん) の受診率(者数を減少させる。		筆することによ	り、がんの早期	発見、早期治	斎原に	
事業の概要			ん検診 (20歳) ・ 率向上に効果のあっ	- 10 140		度の受診対象者	に無料クーホ	『ン券	
■事業実施結果	実施(Do)]							
		年度	2年度		34	3年度		4年度	
事業費の推移	実	績/当初予算						当初	
		総事業費	861		1, 4	114	1	, 461	
■前年度の事業分	<u>析【評</u>	価 (Check) 】							
	指標			単位	2年度_	3年度_	4年度	<u>5年度</u>	
	区分		W 111	7,4	実績		計画	計画	
指標の推移	成果	クーポン券を利用 ん・乳がん)	ポン券を利用した人数(子宮が 乳がん)		81	152	120	120	
	成果	クーポン利用者の 率	うち精密検査の受診	%	57	50	100	100	
	評価	〇達成、概	祝達成した ●多	多少は達成 l	た 〇達成で	きず		·	
達成度の			例年どおり実施し		新型コロナ <u>ウイ</u>	ルス感染症流行	により、医療	聚機関受診に消極	
評価と説明	説明	的になって	いる可能性が高い。	0					
見直し余地	判定	2 ●数年内に	見直し可能 〇名	食地はあるが	がまだ時間が必	必要 〇余地な	L		
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]							
事業の方向性	〇見直	し継続 ●現物	状どおり継続 O♬	廃止・完了				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	予算	算額 〇拡大	●現状 〇縮小		業務量	O拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(通	簡常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	結核検	診事業				事業開	始年度 平原	t26年度		
担当課	健康福	祉部 健康増設	進課		担当者	高村	艮幸江			
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】										
	政策	02	福祉の充実と	福祉の充実と安心の社会保障						
総合計画体系	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり							
	基本事業									
事業の目的	結核の	発生を予防し、	及びその蔓延の防」	止を図り、も	らって公衆衛生 <i>0</i>	つ向上及び増進	を図る。			
事業の概要			として、年1回の結 会場でのバス検診		期の健康診断を	行う。高齢者へ	、の配慮として、			
■事業実施結果	【実施(Do)]								
		年度	2年度		3年	度	4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算					当	初		
		総事業費	1, 261		2, 36	67	85	3		
■前年度の事業分	<u>析【評</u>	価 (Check) 】								
	指標			単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
	<u>区分</u>	18,	ホロッ	+ 12	実績		計画	計画		
指標の推移	成果	65歳以上の肺がん 診者数	· 結核検診の延べ受	人	3, 493	4, 506	4, 000	4, 000		
	成果									
	評価	」 ●達成、棚	既ね達成した 〇多	る少は達成 l	 た O達成で	きず				
達成度の		肺がん検診	未受診者に対し結構	核検診の個別	別勧奨通知を行っ	ったことにより	受診者数が増え	た。		
評価と説明	説明	1								
見直し余地	判定 ●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし									
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性		し継続 〇現	犬どおり継続 O.	廃止・完了						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	○現状 ●縮小		業務量	〇拡大 〇	現状 ●縮小			

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評値	西)						
事務事業名	健康診	查事業				事業開	始年度 斗	F成26年度	
担当課	健康福	祉部 健康増進	進課		担当者	高			
■事業の執行計画									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障				
総合計画体系	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり						
	基本事	-1-	病気の早期発						
事業の目的	生活習	慣病予防のため	、正しい知識の普及	及啓発と疾病	気の早期発見に	努める。			
事業の概要		からの生活習慣 幅広く健康診査	病予防、歯周病検診 を実施する。	診、肝炎ウィ	イルス検査、骨	粗しょう症検診	、胃がんリス	ク検	
■事業実施結果【	実施(Do)]							
		年度	2年度		34	 F度	4	4年度	
事業費の推移	実統	漬/当初予算	実績		実績			当初	
		総事業費	12, 215		14,	809	18	3, 071	
■前年度の事業分	析【評	価 (Check) 】							
	指標名称			単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
	区分	担保有你 ————————————————————————————————————		丰位	実績		計画	計画	
指標の推移	成果	30代への保健指導	享施割合	%	0	85. 8	90	90	
	評価	〇達成、概	既ね達成した ●彡	を少は達成し	った 〇達成で	きず	•	•	
達成度の		健診受診者	に対し、結果説明:	会を新型コロ	コナウイルス感	染対策を行いな	がら実施した	:。日時指定で	
評価と説明	説明	行ったため	、面談ではなく電	話での指導に	こなった方もい	る。			
見直し余地	判定	2 〇数年内に	- 見直し可能 ● 斜	k地はあるが	がまだ時間が必	必要 〇余地な	L		
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]							
事業の方向性	●見直	し継続の現場	犬どおり継続 O.F	廃止・完了					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	面)					
事務事業名	地域自	殺対策強化事業	<u></u>			事業開	始年度 平	" 成22年度
担当課	健康福	祉部 福祉課			担当者	畑۱	山香織	
■事業の執行計画	【計画	(Plan)			·			
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障			
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	充実と健康づ	くり			
		基本事業 03 心の健康づくりの推進						
事業の目的		自殺に追い込ま を図ることを目	れることのない社: 的とする。	会」の実現る	を目指して、自	殺対策を総合的	に推進し、自	殺者
事業の概要	自殺対	策の普及啓発活	動として、市民を対	対象とした詞	構演や啓発用品	の配布を実施す	る。	
■事業実施結果	【実施(Do)]						
		年度	2年度		3年度		4年度	
事業費の推移	実	績/当初予算						当初
		総事業費	223		3	21		535
■前年度の事業分		<u>価(Check)】</u>						
	指標	指	標名称	単位	2年度 実績	3年度	4年度	5年度
	<u>区分</u>	10.	DK 10 10	713			計画	計画
指標の推移	活動	自殺者数		人	16	10	8	6
	活動	ゲートキーパー養	彪成研修受講者数	人	70	433	450	450
	評価			多少は達成 l			V	•
達成度の 評価と説明	ゲートキーパー養成研修及び自殺予防対策に係る研修会等を通じて、市民に自殺対策の知識が浸透 説明 し、自殺者数は減少となった。しかし、依然として全国的にコロナ禍での自殺者数は高い状態で推移 しており、さくら市においても更なる啓発活動が必要である。							
 見直し余地	判定	●数年内(- 見直し可能 Oá	食地はあるだ	がまだ時間が必	要 〇余地な	L	
	z善(Ac						-	
事業の方向性			犬どおり継続 O.F	廃止・完了				
資源方向性	予算	算額 ●拡大	〇現状 〇縮小		業務量	●拡大 〇	現状 〇縮小	_

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	新型イ	ンフルエンザ等	 学対策事業			事業開	始年度	元成26年度		
担当課	健康福		進課		担当者	長.	島雅人			
■事業の執行計画	【計画	(Plan)								
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づ	くり				
	基本事	1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
事業の目的	新型イ	ンフルエンザや	新型コロナウイル	ス感染症等の	D発生に備え市	民を感染から守	る。			
事業の概要			新型コロナウイル? 等を購入し備蓄す?		D発生に備え、	対策に必要な感	染症防護対策	キッ		
■事業実施結果	【実施(Do)]								
		年度	2年度		3年	F度	4年度			
事業費の推移	実	績/当初予算						当初		
		総事業費	5, 992		2, 2	282	2	, 321		
■前年度の事業分		<u>価(Check)】</u>								
	指標	指標名称		単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
	区分	10	N. 11.11.	-	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	防護服備蓄数		セット	599	700	700	700		
	評価	●達成、椆	祝達成した O3	を 少は達成し		きず	,	<u>, </u>		
達成度の		令和2年度	は急激な新型コロ	ナウイルス原	感染症拡大に伴	い、防護服等品	薄状態に陥っ	たため、一部達		
評価と説明	説明		ったが、令和3年				月現在、78	9着を備蓄して		
		いる。その	他の感染症対策物は	品も必要数で	を確保している	0				
見直し余地	判定	○数年内に	-見直し可能 〇分	戻地はあるだ	がまだ時間が必	要 ●余地な	し			
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]								
事業の方向性			1 — 0 · 1 · 1 · 1 · 0 · 1	廃止・完了						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評	面)					
事務事業名	任意予	防接種事業				事業開	始年度 平月	成29年度
担当課	健康福	祉部 健康増設	進課		担当者	斎萠		
■事業の執行計画	【計画	(Plan)						
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障			
総合計画体系	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり					
	基本事	業 04	感染症予防対	策の充実				
事業の目的			定期接種」以外で		られる予防接種と	上、定期接種の	期間外に受ける	.任
争未の日的	意予防:	⑤予防接種費用を助成しり患者を減らす。						
事業の概要	子ども	のインフルエン	ザ助成は、生後6か	月から中学	3年を対象に実施	色 。		
■事業実施結果	実施(Do)]						
		年度	2年度		3年	·度	4年	F度
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	36, 588		13, 4	134	14,	992
■前年度の事業分	析【評	価(Check)】						
	指標		標名称	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
	区分	18	宗石 你	コ			計画	計画
指標の推移	成果	子どものインフル	レエンザ延接種児数	人	6, 329	4, 816	5, 600	5, 600
					290	-	_	
	評価	〇達成、相	既ね達成した ●彡	る少は達成 l	た 〇達成で	きず		
達成度の		インフルエ	ンザ予防接種のワ	クチンが全国	国的に不足傾向。	となり、接種者	数は減少した。	
評価と説明	説明]						
	見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし							
■将来方向性【改		tion)]						
事業の方向性			, , <u> </u>	<u>廃止・完了</u>		1000		
資源方向性	予算	算額 〇拡大	●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)							
事務事業名	公的病	院等支援事業				事業開	始年度 平原	成27年度		
担当課	健康福	祉部 健康増設	進課		担当者	和第	責子			
■事業の執行計画	業の執行計画【計画(Plan)】									
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障					
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づく	ij				
	-	基本事業 05 地域医療体制の整備								
事業の目的	救急医	療の確保及び地	域医療の充実を図ん	る。						
事業の概要			医療における機能線域医療体制の維持を			推を極める中で.	、当該医療を担	<u>!</u> 5		
■事業実施結果	【実施(Do)]								
		年度	2年度		3年度			度		
事業費の推移	実	績/当初予算						初		
		総事業費	13, 000		13, 0	00	13,	000		
■前年度の事業分	<u>析【評</u>	価 (Check) 】								
	指標			単位	2年度	3年度	4年度	5年度		
	<u>区分</u>	18,	1日1末 12 17		実績		計画	計画		
指標の推移	成果	救急患者の受けみ	急患者の受け入れ延べ人数		1, 845	1, 880	1, 900	1, 900		
	評価	●達成、棚	既ね達成した 〇多	る少は達成 l	た 〇達成で	きず				
達成度の		救急医療の	確保等を目的とし	ているため、	対象病院の救急	急患者受入れ延	べ数を指標とし	た。		
評価と説明	説明									
見直し余地	判定	? 〇数年内(こ見直し可能 〇名	€地はあるた	がまだ時間が必	要 ●余地なし	L,			
■将来方向性【改		tion)]								
事業の方向性		し継続 ●現物	犬どおり継続 Off	廃止・完了						
資源方向性	予算		●現状 〇縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小			

事務事業調書(通	常評価	事業 事後評価	西)					
事務事業名	氏家保	健センター管理	里事業			事業開	始年度	平成26年度
担当課	健康福	祉部 健康増設	進課		担当者	和剣	氣 貴子	
■事業の執行計画	【計画	(Plan)]						
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障			
総合計画体系	施策	04	健康・予防・	医療体制の	充実と健康づ	くり		
	基本事	業 99	総合事業		-			
事業の目的	市民の	総合的な保健衛	生の向上及び健康で	づくりの推済	進に寄与する 。			
事業の概要			び健康診査等の地均 管理のため、消防、				の使用と、セ	2ン
■事業実施結果【	実施(Do)]						
		年度	2年度		3年度		4年度	
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績	実績		実績		当初
		総事業費	5, 473		9,	705		4, 845
■前年度の事業分	<u>`析【評</u>	価 (Check) 】						
	指標	上 指標名称		単位	2年度	3年度	4年度	<u>5年度</u>
	区分	18,	ホロ が	+ 12	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	センター稼働率		%	65	77. 3	80	80
	評価	●達成、棚	既ね達成した 〇多	る少は達成 l		きず		,
達成度の		保健センタ	一来所者が不都合	なく利用でる	きるように維持	管理に努めたこ	とにより地域	は保健事業の充実
評価と説明	説明	し、心身の	健康づくりの推進	につながって	ている。			
見直し余地	判定	O数年内に	- 見直し可能 Ost	戻地はあるだ	がまだ時間が必	必要 ●余地な	L	
■将来方向性【改	善(Ac	tion)]						
事業の方向性			犬どおり継続 O.F	廃止・完了				
資源方向性	予算	算額 〇拡大	●現状 ○縮小	-	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小	

事務事業調書(通	A 常評価	事業 事後評	西)						
事務事業名	喜連川	保健センター	管理事業			事業開	始年度	平成26年度	
担当課	健康福	祉部 健康増建	進課		担当	者 和	氣 貴子		
■事業の執行計画		(Plan)]							
	政策	02	福祉の充実と	安心の社会	保障				
総合計画体系	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり						
	基本事		総合事業						
事業の目的	市民の	総合的な保健衛	生の向上及び健康で	づくりの推済	進に寄与する。				
事業の概要			び健康診査等の地 管理のため、消防、				の使用と、 [·]	セン	
■事業実施結果	【実施(Do)]							
		年度	2年度			3年度		4年度	
事業費の推移		績/当初予算			実績			当初	
		総事業費	3, 340		3,	334		3, 529	
■前年度の事業分		価 (Check) 】					4		
	指標 区分	指	標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	<u>5年度</u> 計画	
指標の推移	成果	センター稼働率		%	44. 9	43. 4	45	45	
	評価			多少は達成し					
達成度の 評価と説明 	説明		一来所者が不都合 健康づくりにつな			寺管理に努めたこ	とにより地	域保健事業が充実	
見直し余地	判定	〇数年内に	- 見直し可能 Ost	全地はあるだ	がまだ時間がタ	必要 ●余地な	l		
■将来方向性【改	z善(Ac	tion)]							
事業の方向性	〇見直	し継続 ●現料	犬どおり継続 O.	廃止・完了					
資源方向性	予算	算額 〇拡大	●現状 ○縮小		業務量	直 ○拡大 ●	現状 〇縮/	\	